

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

## ながの治水対策研究会

○民学官の参画の研究会を開催し、身近な治水対策について調査・研究するもの

(R7実績1回 約60人)

- 1 開催日時 令和8年2月13日(金) 午後2時~午後4時
- 2 会場 長野市役所 第二庁舎10階 講堂
- 3 プログラム 開会あいさつ 長野市長 荻原 健司

・講演  
長野県立歴史館 特別館長 笹本 正治 氏  
「長野県の水害と伝承」

・話題提供  
国土交通省 北陸地方整備局  
千曲川河川事務所

長野県 建設部 河川課  
調査・研究成果の報告  
信州大学工学部 水環境・土木工学科 教授 吉谷 純一 氏  
長野工業高等専門学校 環境都市工学科 5年生 1名  
電子情報工学科 5年生 1名



## 流域治水の広報

○地域・企業等へ市内の河川施設や雨水貯留浸透施設助成制度のPRなど

(実績:85基 総数4,325基)

○出前講座:長野市の浸水対策

(実績:1回 100人)



○市政情報番組で紹介1回  
北八幡川、雨水調整池(地下式)

## 教育活動

○出前講座:防災対策

- ・マイ・タイムライン作成
- ・長野市防災ナビの使い方
- ・避難所運営ゲーム
- ・防災備蓄倉庫 など

※R6実績 69回、参加者4,749人  
R7(12月末まで) 48回、参加者3,554人

○環境学習会

- ・水生生物採取や検査キットを用いた川の水質調査

R7実績 1回、参加者68人

## 訓練活動

○地域力向上支援金事業

- 災害時のドローンによる状況把握  
(長沼地区自主防災会連絡協議会において実施)



## 水防活動の支援

○水防活動拠点整備

- 長沼河川防災ステーション整備  
(市施工エリア:複合施設 実施設計に着手)



## 計画策定

○都市計画区域マスタープラン見直し

○都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直し検討

○地区タイムラインの作成・周知  
長沼地区コミュニティタイムライン  
(防災訓練 1回/年実施)

## リスク情報等の提供

○総合的な防災マップ

- 洪水・土砂災害ハザードマップ  
作成・更新・配布  
HPで解説動画配信



○浸水(内水)想定区を公表

(北八幡排水区 R4. 3月)

○雨水出水浸水想定区域図作成に着手



○危機管理型水位計の運用  
(北八幡川、1箇所)



項目	内容
1. 浸水想定区域図の公表	北八幡排水区(約1.5km <sup>2</sup> )の浸水想定区域図を公表し、住民への周知を図る。
2. 雨水出水浸水想定区域図の作成	雨水出水による浸水想定区域図の作成に着手し、精度向上を図る。
3. 危機管理型水位計の運用	北八幡川の1箇所において、危機管理型水位計の運用を開始し、リアルタイムでの水位監視を行う。
4. 総合的な防災マップの更新	洪水・土砂災害ハザードマップの更新を行い、最新のリスク情報を提供する。
5. 都市計画マスタープランの見直し	都市計画マスタープランの見直しを検討し、防災対策を反映させる。

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松本市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 河川管理者、市、広域消防局、消防団及び町会関係者で重要水防箇所合同巡視を実施(5~6月、2回)
- 自主防災組織の防災活動を支援するため、補助金を支出(102件)



▲重要水防箇所の合同巡視



## 教育活動

- 水害に関する出前講座を実施(41回)
- 災害発生時に自分の身は自分で守る行動を行う防災学習を実施(76件、3,161人)



▲医療救護訓練

## 訓練活動

- 小中学校において避難確保計画に基づく避難訓練を実施(年1回)
- 消防団の各分団で土嚢づくり、土嚢積訓練等の水防訓練を実施
- 医療救護所の開設・運営や、災害拠点病院とのWeb会議での情報連携等の医療救護訓練を実施(10月、350名)



▲土嚢訓練

## 水防活動の支援

- 水防団員や消防団員の募集強化のため、松本市消防団公式Instagramにて各分団の活動内容を紹介

松本市消防団  
公式 Instagram



## 流域治水の広報

- 市内35か所にある地域づくりセンターにてハザードマップを配布

## リスク情報等の提供

- 新たに公表された中小河川の洪水浸水想定区域を反映したハザードマップを発行
- 松本安心ネット、防災無線、SNS、災害電話サービス等を活用し、災害情報等を発信
- バス運行事業者との打合せにおいて、治水体制について協議

## 個別避難計画チラシ



## 計画策定

- 想定最大規模降雨公開に伴い、地域防災計画への該当施設更新
- 法定の記載要件を充たすマップを個別避難計画と位置付け、市社会福祉協議会と連携して支援
- 立地適正化計画を見直し、防災指針を追加した計画案を作成

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(上田市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 河川管理者、河川沿川地区等と共同で点検を実施(年1回)
- 自主防災組織リーダー研修会の実施(令和7年度 計6回)



千曲川合同巡視



自主防災リーダー研修会

### 流域治水の広報

- 出前講座、防災教育、ホームページでの周知
- 上田市防災講座の開催



日本防災士会 長野県支部 支部長 大久保氏による講演



防災用資器材展示

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### 教育活動

- 出前講座等による防災教育の実施(令和7年12月末現在 68回)



多文化交流フェスタでの防災教育



小学校親子防災教室

### リスク情報等の提供

- ハザードマップの作成・配付
- 独自ポータルサイトの運用



## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### 訓練活動

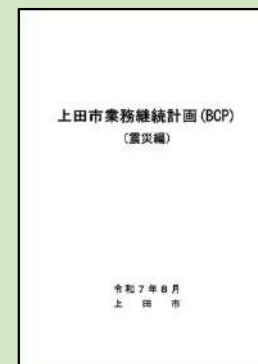
- 上田市防災訓練(令和7年8月30日実施)
- 自主防災組織による防災訓練(令和7年10月末現在 98自治会実施)



防災訓練におけるシェイクアウト訓練

### 計画策定

- 業務継続計画(BCP)の見直し
- 指定避難所(学校施設)運営方針策定



## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

### 水防活動の支援

- 水防訓練の実施(2回22人)



- 河川監視カメラ設置(令和7年12月現在 5台設置済 ※令和7年度中に1台追加予定)



流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(須坂市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 土砂災害警戒区域パトロールの実施
- 水防活動に関わる関係者と合同で重要水防箇所を現地調査(5団体 13地区)

### 流域治水の広報

- 市報による広報(災害への備えできていますか)

### 教育活動

- 災害に関し防災施設見学による防災教育(小学校1校)
- 赤牛先生(土砂災害専門家)による防災教育(区長会 1回)

### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(1回、270人)
- 地区防災マップを使用した避難訓練(1地区、1回)



### リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップの配布(転入者へ)
- 防災情報を提供するアプリを導入(須坂市防災アプリ)

### 計画策定

- コミュニティタイムラインの作成支援(2地区、各3回開催)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小諸市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実、支援
- 地域住民による河川普請の実施

## リスク情報等の提供

- 洪水の浸水想定範囲、ハザードマップ、指定緊急避難場所、指定避難所等のホームページへの掲載、市民への周知
- 地域防災計画の見直し、公表
- SNS等による防災情報の充実
- 広報こもろ等による出水期、マイタイムライン等の周知
- 市民へ「防災と暮らしのガイドブック2025」を全戸配布



## 教育活動

- 出前講座による防災教育の実施マイ・タイムラインづくりの支援等 (9回、222人)
- 防災士資格取得支援補助金



## 訓練活動

- 小諸市総合防災訓練により各種関係機関と協力し実施(1回)
- 職員向け避難所開設訓練(3回)



## 水防活動の支援

- 北佐久消防協会の水防講座を実施 (1回)
- 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、量水標の設置 (小諸市管理2拠点)
- 民間企業等との災害時応援協定の締結



## 計画策定

- 立地適正化計画の見直し(令和8年3月予定)
- 小諸市地域防災計画の見直し(令和7年3月)



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(中野市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの推進
- 千曲川河川事務所による上今井遊水地整備の地元区及び市民向け現場見学会の開催(約60名参加)
- 出水期前に、河川管理者、消防団等の関係機関と重要水防箇所合同巡視の実施



## 流域治水の広報

- 上今井遊水地だより(千曲川河川事務所発行)で上今井遊水地整備の、進捗状況等を周知
- 防災訓練、防災教育、出前講座等において周知



## 教育活動

- 分かりやすい教材等を用いた防災教育(1回、25人)
- 防災出前講座及びマイ・タイムラインの普及啓発(3回、60人)



## リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表
- 市ホームページへのハザードマップの掲載(リスク情報の公開)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(気象・防災情報を中野市すぐメールにて、登録者を対象に送信)

## 訓練活動

- 水防体制の強化を図る共同訓練を実施(替佐地区 1回)



## 水防活動の支援

- 講習会により、マイ・タイムラインの作成支援

## 計画策定

- 地域防災計画・避難確保計画の作成促進
- 中野市総合浸水対策計画の推進
- 中野市まちづくり基本計画～立地適正化計画編～による防災指針の整理と推奨(R5～)

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(大町市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 自主防災組織主体の防災訓練・防災研修に対する講師派遣等の支援(8件)
- 自主防災組織に対する防災資機材整備の補助(15件)
- 防災士資格の取得補助(3件)



## 講演会・広報活動

- 広報おおまちによる、市民への流域治水プロジェクト広報活動
- 消防フェスタにおいて、AR機器による洪水体験を実施



## 教育活動

- 国土交通省大町ダム管理所等と共催する「高瀬溪谷フェスティバル」への協力(ダム見学・流域治水・土砂災害等に関連する体験学習など)
- 大町ダム等再編事業について、北陸地方整備局千曲川河川事務所と共催し、地元小中学生などを対象とした流域治水に関する現地見学会や社会教育活動

## リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップ内での浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の情報を更新・市HPにて配信  
最新版：令和7年4月1日
- 避難場所等に関する情報を市HP等にて公表  
最新版：令和5年4月1日時点

## 訓練活動

- 避難所開設・運営初動訓練
- 水害の発生や地震の発生を想定し、避難したあと自治会や自主防災会としてどのように避難所を運営するかを、考えながら実践する訓練を開催



## 計画策定

- 都市計画マスタープラン(立地適正化計画の防災指針を反映)  
令和6年改訂済

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(飯山市)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

○関係区による関連する現場見学会の開催。現在行われているプロジェクト事業への理解と共有。(一団体:22名参加)



## 流域治水事業等の広報

○市広報紙による特集記事の掲載。身近な事業の進捗と計画(2回/年)



## 教育活動

- 北信5市町によるかわまちづくり事業の推進  
魅力ある水辺空間、賑わい創出 (市内小学校参加)
- 各種学習会の開催 (3回開催)  
千曲川水環境保全協議会による環境学習会 / 水害と避難所についての学習会  
千曲川に関する学習会 / 災害時の役割を考える研修・実習 など
- 3D都市モデルを活用した千曲川氾濫シミュレーションの実施  
(小中学生用と住民用に啓発動画作成中)



○マイ・タイムラインの活用推奨  
(市HPへの掲載・様式変更検討)



## 洪水時は流しま宣言の推進

○市民・事業者と協働した流域治水の取組推奨  
増水時の排水量削減を依頼する取組み(R5.7~)

## リスク情報等の提供

- 指定避難所、洪水ハザードマップの全戸配布
- 県管理区間の河川監視カメラの設置、市民への閲覧(7箇所)
- 洪水情報の配信  
(緊急速報メールとして立ヶ花水位観測所における情報を有事の時に市民へ発信)

## 訓練活動

○水防訓練の実施  
避難所開設・増水想定訓練  
毎年5月下旬開催 (関係者300名参加)

○排水ポンプ車運転訓練  
関係する区民と行政の協働による訓練  
毎年6月上旬開催 (地元住民関係者20名参加)



## 計画策定

○飯山市まちづくり基本計画(立地適正化計画)による防災指針の整理と推奨(R3.3~)

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(塩尻市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(全地区)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(気象・防災情報の提供を全地区等で実施)
- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(HP・SNS)
- 洪水・土砂災害ハザードマップを全戸配布



- 危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設(現在までに、奈良井川、小曾部川、田川 計6箇所設置)

## 教育活動

- 分かりやすい教材等を用いた防災講座(33回、約1800人)



## 施設整備

- 楢川地区防災倉庫の整備をした(平時は備蓄倉庫、災害時は物資の集積拠点として機能)



## 水防活動の支援

- 塩尻消防防災フェスタの開催



## 計画策定

- 地区タイムラインの作成・周知(1地区)



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(佐久市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 区・消防団と、地域の洪水による災害リスクの高い箇所を確認し、有事の際の避難経路等を共有(さくの絆作戦)
- 千曲川河川事務所が実施する千曲川流域タイムラインへの参加

### 教育活動

- 自主防災組織のマイタイムラインの作成支援
- 出前講座による地域防災・減災に関する知識の普及啓発(実績R7.12月現在:35回 1,023人)
- 地域防災力向上のため災害リスクなど基礎知識を学べるDVDの貸出
- 地域の防災リーダー(防災士)を対象としたスキルアップ研修会の開催
- 令和元年東日本台風等の被災箇所を記載した地域防災マップの作成支援(R4年度~R6年度)

### リスク情報等の提供

- 「佐久市立地適正化計画」に防災指針を追記・公表(R4年度)
- 佐久市防災マップの作成・配布・公表(R2年度)、更新(R5年度)
- 千曲川洪水ハザードマップの作成・配布・公表(R2年度)
- 市内一級河川の洪水ハザードマップの作成・配布・公表(R4年度)
- 移住者・転入者へ佐久市防災マップの配布・説明
- 佐久市地域防災計画、佐久市水防計画の公表
- 情報最新サービス「さくネット」・情報配信システム「さくステ」による情報伝達
- 雨量計の設置・公表(市内26か所 ※国・県設置12か所、市独自設置14か所)
- 令和元年東日本台風等の被災箇所を記載した地域防災マップの公表

### 訓練活動

- 住民参加型の避難所開設・運営訓練
- 消防団による水防訓練の実施



水防訓練の様子

### 補助制度

- 自主防災組織が行う防災資機材の整備費および地域の防災リーダーとなる防災士資取得費に対し、補助金の交付

### 民間企業等との連携

- 災害時における相互応援や応急対策用物資、復旧用資機材等の迅速な確保に向け、各種業界団体等との災害時応援協定の締結(41者※自治体含む)
- 有事の際に資機材等を提供いただける建設業者等に「消防団協力事業所」制度の実施

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(千曲市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 重要水防箇所を水防団と合同巡視



### 教育活動

- 小学生親子を対象に、河川環境や治水対策への理解を深める自然体験学習会を実施  
(1回、親子26組、60人)
- 市内小学生を対象に、水害時の事前準備の説明や避難所設営体験を交えた、出前講座を実施  
(2回、合計約104人)
- 水害リスクの高い地域で区長向けの防災勉強会を実施



### 訓練活動

- 住民参加型の総合防災訓練を実施  
(1回、埴生地区、1,025人参加)
- 小中学校と市の連携による避難所開設合同訓練を実施  
(13箇所)



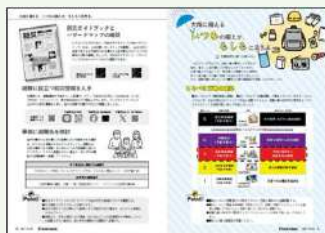
### 水防活動の支援

- 水害リスクの高い場所に排水ポンプを設置



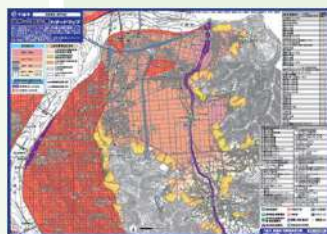
### 流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害について啓発
- 広報誌で信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗を発信



### リスク情報等の提供

- 新たに作成した洪水・土砂災害ハザードマップ、内水ハザードマップを全戸配布



### 計画策定

- 住民向けの出前講座においてマイタイムラインの作成を呼びかけ  
(17回、合計約490人)
- 地区防災計画の作成支援  
(71地区中50地区作成済み)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(東御市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 河川愛護(清掃)活動44団体実施
- 河川管理者と河川モニターの連携
- 市・河川モニターによるパトロール

### 教育活動

- 防災出前講座実施(田中地区、ケアマネネット部会等)
- 小中学校への防災教育・出前講座(東部中、北御牧中)
- 市民を対象に土砂災害講座を実施(県の赤牛先生)

### 事前準備等の発信

- 台風接近前のため池低水位管理について発信

### リスク情報等の提供

- 避難所・土砂災害ハザードマップをR3に更新(R4. 6に各戸及び市内企業等へ配布)
- ため池ハザードマップをR3に作成(全146池内、防災重点農業用ため池49池)関係区へ配布済(R5に11池追加 R6配布)
- 避難場所や避難経路等に関する地区防災マップ作製支援(R7までに5区整備済)
- 市HPへ、国県のポータルサイトを貼付け情報提供

### 訓練活動

- 金原ダム緊急放流伝達訓練
- 非常時職員参集・情報伝達訓練(8月)
- 市内小中学校の避難訓練 年1回

### 水防活動の支援

- 活動拠点整備の検討

### 水災害対策の支援

- 越流箇所への土壌配布

### 被害軽減対策

- 災害拠点の機能確保(庁舎・病院に自家発電設置済)

### 計画策定

- 業務継続計画(BCP)の継続した取組
- 庁内災害タイムライン策定済、実行
- 下水道BCP計画策定済、実行
- 下水道施設耐水化計画策定済
- 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援
- 都市マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(安曇野市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施
- 砂防カード及び防災インフラカードの配布



### 流域治水の広報

- 広報紙、ホームページによる周知
- 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット等の設置



### 訓練活動

- 水防実働訓練等の実施
- 排水実働訓練の実施 (R7実績:ポンプ車5回、可搬ポンプ1回 延べ56名参加)
- 自主防災組織による訓練 (R7実績(12/26現在): 90組織中63組織で実施、延べ5,731名参加)



### 教育活動

- 出前講座による防災教育の実施 (R7実績(12/26現在): 24回開催 延べ653名参加)



### リスク情報等の提供

- 浸水リスク情報の周知
- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など 防災情報の充実
- ハザードマップ更新・配布



### 水防活動の支援

- 排水ポンプ車購入(令和5年6月)



### 水災害対策の支援

- 土砂災害における警戒避難体制を強化し、住民の避難に資するため、土砂災害に関する行動計画作成の取り組みを支援



### 計画策定

- 避難確保計画の作成と訓練の推進
- 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

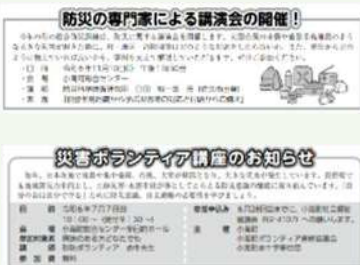
# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小海町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

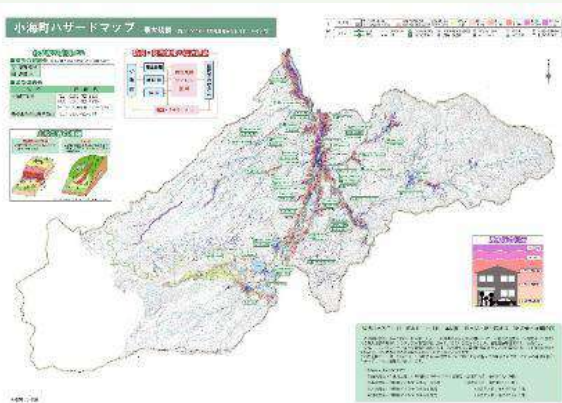
流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

## 流域治水の広報

○町の広報誌で治水活動について周知 (今年度未掲載)



○全公民館へハザードマップの掲示(27か所)  
○浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表



## 訓練活動

○住民参加型の総合的な避難訓練を実施 (消防団参加、年1回、全33地区約400人)



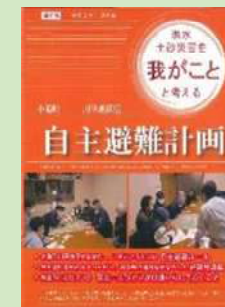
## 教育活動

○土砂災害・水害に関する防災 教育、災害ボランティア研修会 (マイタイムラインを活用)  
○小中学校への防災教育出前講座(各1回、30人)



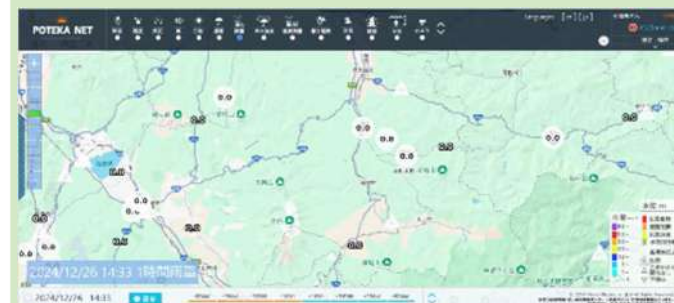
## 計画策定

○自主避難計画の策定  
○町内33地区中23地区が策定済



## 水防活動の支援

○超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA」  
小型気象計設置(2か所)



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(佐久穂町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

○ダム見学会やダムの湖面の利活用に  
係る実証実験の開催  
(湖面の利活用に係る実証実験: 佐久穂  
町、1回、2日間、107名、42組)

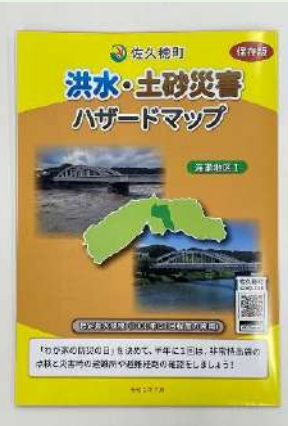


### 教育活動

○ダムや堤防等の施設について、整  
備の段階や完成後も定期的にそ  
の効果や機能等について住民に  
周知を実施

### リスク情報等の提供

○洪水・土砂災害ハザード  
マップの更新・配布(佐久穂  
町全域)  
○洪水時や土砂災害時に利  
用可能な指定緊急避難場  
所に関する情報を掲載



### 訓練活動

○住民参加型の総合防災訓練の実施  
○水防団等への連絡体制の確認と職員も  
参加した実践的な情報伝達訓練の実施



### 水防活動の支援

○出水期前の土のう事前作成



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について  
知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる  
きっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行わ  
れるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む  
主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(川上村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 流域治水の広報

○流域治水に係る諸掲示物を村内公共施設内で掲示

### 訓練活動



○小学校において、洪水・土砂災害を想定した避難訓練を実施(村内2校 参加児童約200名)

### 水防活動の支援

○消防団等への連絡体制強化と災害対策本部を主体とした情報伝達訓練

### 水災害対策の支援

○取水期前の土のう事前作成

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(南牧村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## リスク情報の提供

○スマートフォンアプリ「みなみまきむらパスポート」から村内の河川や用水路等の水位や雨量の測定値を地図でいつでも確認できるサービスを提供

一定の基準値を超えた場合、自動的にプッシュ通知あり  
(アプリDLにて誰でも閲覧可能)

### 205 災害・気象情報サービス

村の河川や用水路などの水位や雨量観測所の雨量の測定値を、地図でいつでも確認することができます。水位や雨量の測定値が一定の基準値を超えた場合、自動的に住民アプリに警告のお知らせがプッシュ通知されます。※この場合、機種様のシステム操作はありませぬ。

#### 処理手順

#### 1 災害・気象センサー公開マップ

トップ画面より、「災害・気象情報」をタップします。

地図(GoogleMap)が表示され、村で設置した水位センサーや雨量観測所に計測した水位や雨量が表示されます。

地図では、「水位」をタップすると水位、「雨量」をタップすると雨量の情報が確認できます。



## 教育活動

○総合防災訓練にて長野県砂防ボランティア協会による土砂災害危険箇所防災講座を実施  
(1回20人)



## 教育活動

○地元中学生に対し防災意識の向上を目的とした防災教育の実施  
(生徒10人)



## 連携活動

○総合防災訓練にて長野県砂防ボランティア協会による自分たちの住む地域の危険箇所の把握・点検  
(1会20人)



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組み主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(南相木村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒・特別警戒区域(土石流)を公表(全地区)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(防災マップ)
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設(南相木川、3箇所設置)
- 雨水貯留施設の設置(役場)



## 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施
- 役場職員の炊き出し訓練を実施
- 役場職員による備蓄倉庫の確認・整理を実施



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(北相木村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 訓練活動

○住民参加型の避難訓練を実施



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(軽井沢町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

○自主防災組織の活性化支援に伴う  
リーダー育成

○地域住民を対象とした防災講座の開催  
(R7実績、25回、365人)



## 教育活動

○マイ・タイムライン及び、防災意識の啓発  
広報軽井沢2025年9月号より



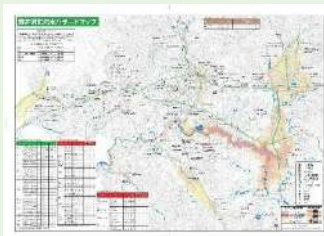
## 水災害対策の支援

○町職員による各区被害報告責任者の  
配置に伴う連絡体制の構築

防災ハンドブックより



軽井沢町HPより洪水ハザードマップ



## リスク情報等の提供

- 土砂災害防災マップ・浅間山火山防災マップを公表(町内全域)
- 浸水想定区域マップ公表(町内全域)
- 洪水ハザードマップ、ため池ハザードマップ公表

軽井沢町HPよりため池ハザードマップ



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(御代田町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 教育活動

- 小学生に対し体育館に開設した避難所の研修を実施
- 小学生を対象とした防災教育、非常持出し袋の作成実習等を実施し、子どもから家族を動かす働きかけを継続

### 訓練活動

- 町総合防災訓練として、災害対策部訓練、避難所開設訓練を実施
- 各区での防災訓練の実施  
今後、各区での避難所開設や要支援者参加型の訓練を実施予定



### 流域治水の広報

- 避難に関する情報、マイタイムラインの作成、天気雨量情報の収集などを、スマホで完結できる防災ツールを町民に提供

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの配布を継続

### 防災リーダーの育成

- 町で防災士の資格保有者を増やし、地域や職場の防災リーダーとなってもらうため、資格取得費用をほとんどを町が負担し、防災士養成講座を開催  
(令和7年12月現在、106名養成)
- 防災士を対象とした防災訓練を定期的実施

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

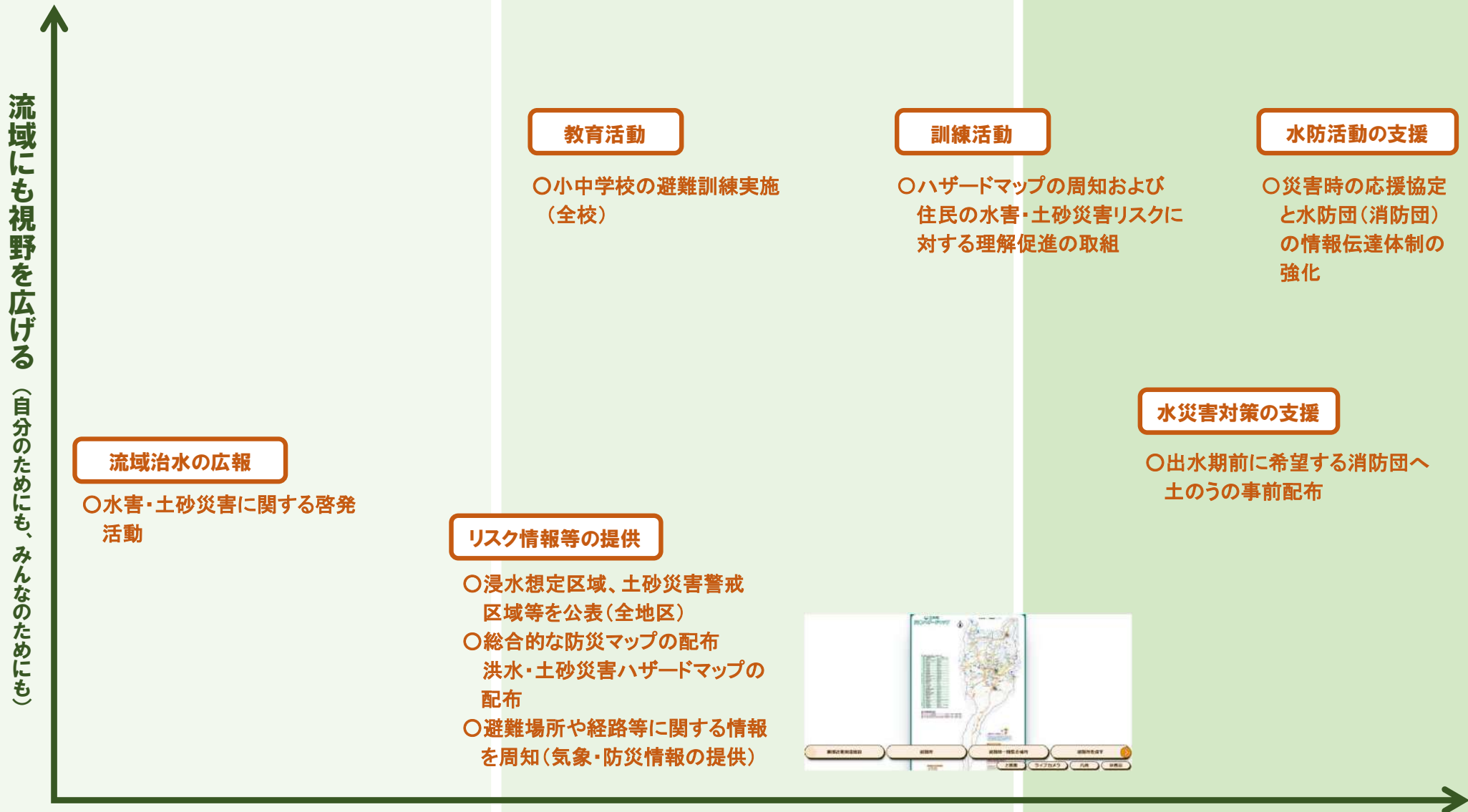
## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(立科町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 流域治水の広報

- 水害・土砂災害に関する啓発活動

### 教育活動

- 小中学校の避難訓練実施(全校)

### 訓練活動

- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組

### 水防活動の支援

- 災害時の応援協定と水防団(消防団)の情報伝達体制の強化

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(全地区)
- 総合的な防災マップの配布  
洪水・土砂災害ハザードマップの配布
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(気象・防災情報の提供)



### 水災害対策の支援

- 出水期前に希望する消防団へ土のうの事前配布

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長和町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 教育活動

- 職場体験で受け入れた地元中学生2名に砂防堰堤建設箇所の視察研修を実施した。



## 訓練活動

- 地区防災会議との共催による、消防団・警察署・消防署と連携した避難訓練を実施。災害図上訓練や防災用品の展示、非常食の試食を行った。
- 自主防災組織住民を対象とした防災講座を開催、ハザードマップや気象情報の見方を周知した。



## リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の周知
- 洪水・土砂災害ハザードマップを随時配布
- 避難場所や経路等に関する情報の周知



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(青木村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

○令和元年19号台風で被災した  
長野市長沼地区との共同植樹会  
(3年目の開催)



## 教育活動

○小学校への防災学習を実施  
(5年生 約30名)



## リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成・配布、  
洪水・土砂災害ハザードマップを  
更新・配布
- 緊急防災メールによる、リスク情  
報等の提供。

## 訓練活動



○「総合防災訓練」を実施  
役場職員、自治会長、地域住民等を対象  
に、緊急情報に関する送受信訓練を実  
施。(約50名)

## 計画策定

○地区防災マップの  
策定・配布  
(夫神地区)



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について  
知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる  
きっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行わ  
れるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む  
主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(麻績村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- ダム、砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わるツアーの開催(1ダム)
- ダムカード、砂防カードの配布

### 訓練活動

- 公共施設合同の避難訓練を実施(5施設1箇所)
- 住民参加型の避難訓練を実施(28地区22箇所)

### 社会教育活動

- 高齢者を対象とした防災教育・タイムラインを活用した公民館講座の開催

### 水災害対策

- ダム、ため池等の低水位管理(1ダム、8ため池)
- 村内河川等の危険箇所の巡視

### 流域治水の広報

- 広報紙での「防災コラム(連載形式)」の掲載(年4回、全戸配布)

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表(全戸配布)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(HP掲載、全戸配布)
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設(1河川3箇所設置、2ため池2箇所設置)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(生坂村)

結果報告: 流域治水の新たな取り組みとして小立野、下生野地区で田んぼダムの実証実験を開始した。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

## 流域治水の広報



〇雨水貯留タンクを公共施設10箇所に設置して、村の補助金制度も含めて住民のPRを行っている。



〇犀川増水時の内水氾濫が心配される地区での流域治水の取組み、対策について地元説明会の開催。

## リスク情報等の提供

- 〇総合的な防災マップ(防災ハザードマップ)を全戸配布、HPで公表
- 〇リアルタイムで気象・雨量等の情報がHPで確認可能

## 訓練活動



〇消防団による水防訓練等の実施



〇住民参加型の避難訓練、防災グッズの組立を実施

## 生坂村における治水上の課題と田んぼダムの取組



〇犀川増水時には樋門を閉じるため、内水氾濫の危険性がある2地区で流出を抑制し、ゆっくりと時間をかけて排水できるか実証実験を行っている。



住宅用雨水貯留タンク設置への補助金制度

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

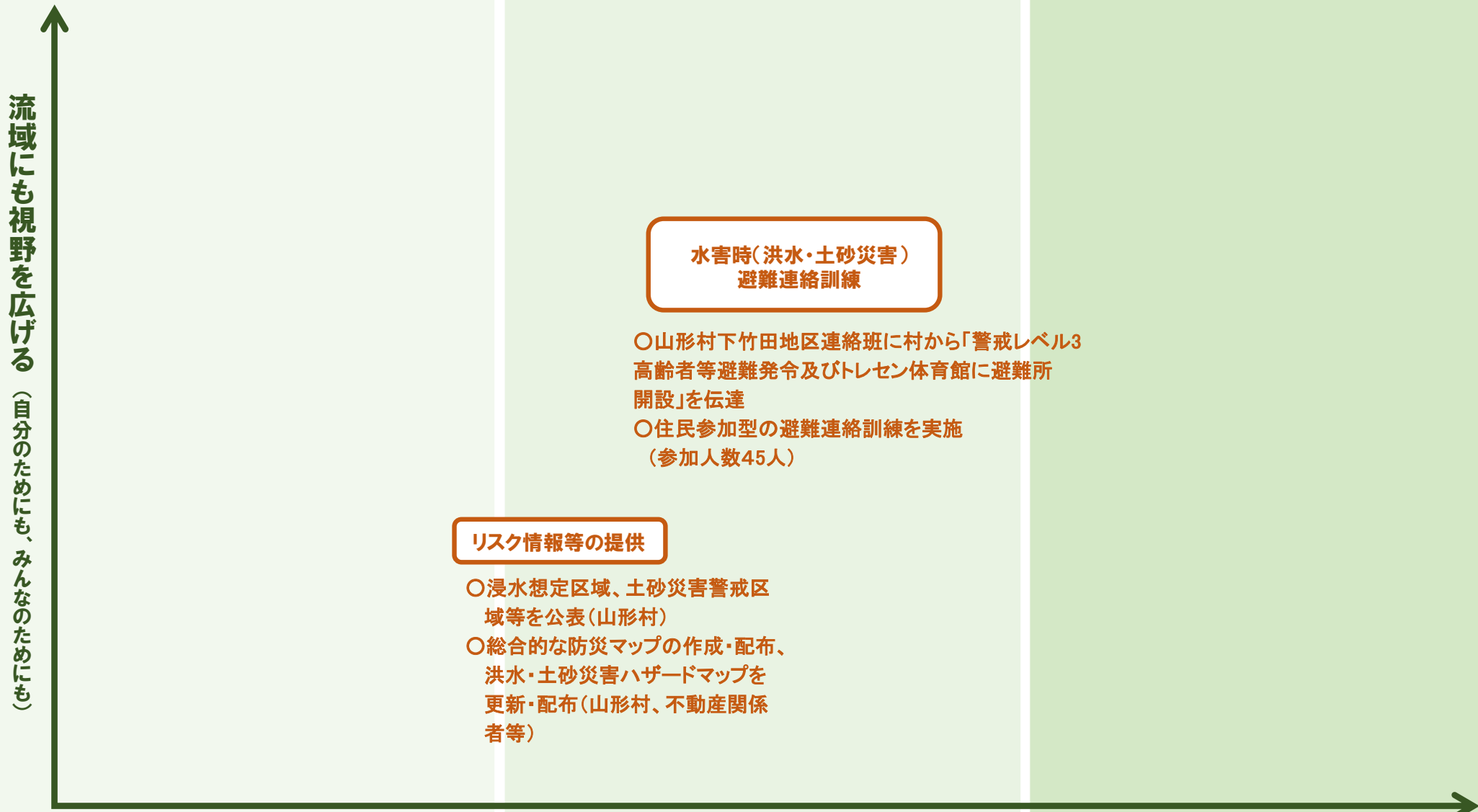
### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(山形村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



**水害時(洪水・土砂災害)  
避難連絡訓練**

- 山形村下竹田地区連絡班に村から「警戒レベル3 高齢者等避難発令及びトレセン体育館に避難所開設」を伝達
- 住民参加型の避難連絡訓練を実施 (参加人数45人)

**リスク情報等の提供**

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(山形村)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(山形村、不動産関係者等)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(朝日村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表(朝日村)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布
- 土砂災害警戒区域を有する地域を対象に防災マップを作製・配布



### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施
- ・土砂災害訓練  
(対象地区、1回、人数約30人)



### 水災害対策の支援

- 水害対策として排水ポンプ1台整備



### 水災害対策の訓練

- 消防団で排水ポンプの取り扱い訓練を実施



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(筑北村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## リスク情報等の提供

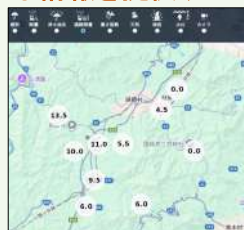
○防災行政無線の更新とあわせて、情報伝達の多様化(防災ラジオ・HP・アプリ・テレビL字放送)を実現



○洪水・土砂災害ハザードマップの大型看板を作成し、地区公民館に設置



○気象観測・情報提供システム「ポテカ」にてリアルタイムな情報を提供(H29～継続)



## 教育・啓発活動

○雨水貯留タンクを指定避難所の2施設(本城体育館、坂北体育館)へ設置



○住宅等用雨水貯留タンク設置補助制度のPR (R6～継続)

## リスク情報等の提供・防災学習

○職員が地域に出向いて行う「防災出前講座」を3回開催  
ハザードマップ解説、水害リスクと自助・共助の解説等



○防災アプリ(信州防災アプリ、ヤフー他)を広報誌、ホームページ等で紹介

## 訓練活動

○要配慮者利用施設避難確保計画作成、避難訓練(全10施設で作成済み、全施設で訓練実施)



※4施設に講師として参加し、実効性のある避難体制のアドバイスや避難確保計画の見直しを助言

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(池田町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 流域治水の広報

- 町ホームページで豪雨の後の水位に注意するよう広報

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域等ハザードマップをホームページで随時公開



### 教育活動

- 中学校の防災参観等防災安全教育の支援(1回、195人)

### 防災教育や防災知識の普及に関する取組み

- 自主防災会長会議における防災知識の普及(年2回各32名参加)
- マイタイムライン作成講習会に併せて、ハザードマップの確認と気象情報収集要領の紹介(2月に1回予定)

### 訓練活動

- 南部消防連絡協議会による水防訓練の実施



- 小・中学校・保育園合同による保護者引渡訓練の支援(1回、750人)

### 計画策定

- 地区防災計画の見直し作成(和合地区)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松川村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

## 防災教育や防災知識の普及に関する取組み

○要配慮者利用施設の避難確保計画作成研修会の開催



○砂防ボランティアによる赤牛先生講座



## 訓練活動

○小学校にて避難所運営訓練の実施



○土砂災害警戒区域自主避難訓練の実施



## リスク情報等の提供

○洪水・土砂災害ハザードマップ及びマイタイムラインをカレンダーに添付して全戸配布

○土砂災害警戒区域の全戸に自主避難ルールや避難経路図を作成してもらいリスクの再確認



## 水災害対策

○水防団の災害対応訓練  
土のう作成及び土のう積み訓練の実施



## 計画策定

○要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援  
施設管理者に計画作成ひな形を提供し作成の支援を行った

○土砂災害警戒区域の住民による自主避難計画の作成



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(坂城町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 教育活動

- 小学校で防災教育を実施  
(あつまれ長野キッズ！防災わくわく塾 in坂城町村上)  
(1回、小学1～4年生 79名 関係者 約30人)



## 訓練活動

- 住民参加型の防災訓練を実施  
(1回、356人)



- 給水訓練を実施  
(1回、356人)



## リスク情報等の提供

- 区長へ防災説明会を開催し、  
防災に関する情報を周知(1回、7月)

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小布施町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 教育活動

- 自主防災会向けの防災講習会(自主防災会役員189名参加)
- 小学校での防災授業の開催  
「自然災害からくらしを守る」(9月17日 栗ガ丘小学校4年生 105名参加)  
「水害から命を守る方法を学ぼう!」(12月10日 栗ガ丘小学校4年生 104名参加)
- 住民防災フェス(2月28日開催予定)

### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練(9月7日、2,697名の参加)

### 流域治水の広報

- 雨水貯留施設補助制度のPR(広報誌、ホームページ)

[防災講習会]



[防災授業(9月17日)]



[住民防災フェス※昨年度の様子]



[防災授業(12月10日)]



### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表
- 防災マップ等ホームページに掲載

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(高山村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 土砂災害警戒区域パトロールの実施(高山村 6人)
- 防災ウォーキング(防災マップの説明等)(牧区 参加者 94人)

【土砂災害警戒区域パトロール】



【防災ウォーキング】



### 教育活動

- 赤牛先生(土砂災害専門家)による防災教育(高山村区長会防災講座 1回)
- (地区防災マップ作成支援 2回)



### リスク情報等の提供

- 地区防災マップの作成支援(高山村 2地区)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(山ノ内町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

## 支流の森林整備

- 河畔林を整備(三沢川1,500㎡)



## リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(夜間瀬川流域)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置(夜間瀬川、1か所)

## 多様な主体による取組

- 河川の美化活動「夜間瀬川をきれいにする会」を通した河川の適切な管理に対する意識醸成(約120人参加)



項目	実施内容	実施日時	実施場所	実施者	実施結果
1. 浸水想定区域等の公表	夜間瀬川流域の浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表し、住民への周知を図る。	2023年10月10日	山ノ内町役場	山ノ内町職員	浸水想定区域等の公表が完了し、住民への周知が図られた。
2. 避難場所や経路等の周知	夜間瀬川流域の避難場所や経路等に関する情報を周知し、住民への周知を図る。	2023年10月10日	山ノ内町役場	山ノ内町職員	避難場所や経路等に関する情報の周知が完了し、住民への周知が図られた。
3. 危機管理型水位計・監視カメラの設置	夜間瀬川に危機管理型水位計・監視カメラを設置し、水位の監視を行う。	2023年10月10日	夜間瀬川	山ノ内町職員	危機管理型水位計・監視カメラの設置が完了し、水位の監視が可能となった。

## 風水害に対応したタイムラインによる総合防災訓練の実施

- 防災情報の配信(緊急速報メール(エリアメール)他)
- 自主防災組織と町の連携(約300人参加)
- 山ノ内町避難行動要支援者支援計画に基づく避難支援の実証訓練



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(木島平村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 行政区長会防災研修を開催し、自主防災組織の取組を推進

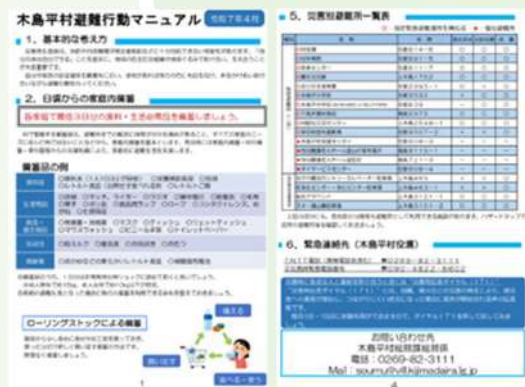
### リスク情報等の提供

- 村防災システムにより注意報等の情報、雨量、河川水位情報、土砂災害危険度等をHPで公表

### 水防活動の支援

### リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成・全戸配布済み
- 災害時の行動や日頃の備え、避難場所等に関する情報(避難行動マニュアル)を周知(4月に全戸配布)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(野沢温泉村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)



### 教育活動

- 小中学校で防災教育を実施

### 訓練活動

- 住民参加型の防災訓練の実施  
(1回、30人)

### 水防活動の支援

- 水防活動拠点整備  
(9拠点)

### 水災害対策の支援

- 危機管理型水位計、簡易型  
監視カメラの設置を要望

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等  
を公表
- 洪水・土砂災害ハザードマップを更  
新・配布
- Lアラートを通じて情報提供
- 村独自の雨量計を上ノ平地区に設置  
し、情報をHPで公開(6月~11月)

### 計画策定

- 流域タイムラインに合わせて  
策定を検討
- 個別避難計画の策定(随時)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(信濃町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 自主防災組織の推進
- Lアラートによる報道機関等への情報提供

### 教育活動

- 地区防災マップ作成(30人)
- 学校や民間団体等からの依頼による防災講話(30人)
- 鉄道事業者との物資輸送訓練



### リスク情報等の提供

- 防災マップの配布
- 不動産業者等へのリスク情報の提供
- 危機管理型水位計・監視カメラの情報提供
- 緊急速報メールやLアラートを活用して市民へ情報提供
- メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供

### 水防活動の支援

- 災害時の応援協定と消防団の情報伝達訓練の実施
- 量水標設置の検討

### 計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(飯綱町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小川村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を計画  
(R7.9月の防災の日に実施、  
893人避難訓練参加)

### リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップを  
移住者へ随時配布(全村)
- 地区防災マップの作成  
防災を考える住民懇談会(全3回、  
延60人参加)を経て地域別の自主  
避難マップを作成

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(栄村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

### 流域治水の広報

○河川工事を通じた流域治水への理解 (村広報誌に掲載)

令和7年7月1日 広報さかえ

#### 百合居地区千曲川堤防関係工事について

百合居地区堤防関係工事については、御嶽河ブリッジが足場の組立及び架取コンクリートの製作、鉄筋の組立を行っています。架取工事の中野土建㈱は冬期仮設テントを設置し機門の施工を進め、フラップアートの設置が完了となりました。また、御サンタキザワが護岸工事及び機門・橋脚の工事を進めています。製作側では御フクザワコーポレーションが迂回路の新設を、御サンタキザワが地区内道路の施工を順次進めているところです。






【御嶽河ブリッジ】 【御サンタキザワ】

【中野土建㈱】 【御フクザワコーポレーション及び御サンタキザワ】

また、現在使用している迂回路の切替を8月のお盆明けに予定しておりますので、詳細が決まり次第、8月の広報等でお知らせいたします。  
なお、切替当初は交通誘導員を配置し、安全対策には十分注意したいと思っておりますので、村民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。

**■工事関係のお問合せ先**

長野県北信建設事務所  
整備課 整備第三係  
☎0269-23-0796

栄村役場  
農林建設課 建設係  
☎0269-87-3113

### 教育活動

○栄小学校児童 河川工事見学(43人) 10/29



○百合居橋現地見学会(33人) 10/26



### 訓練活動

○栄村総合防災訓練 8月31日(日)実施

○情報共有 出水期前、役場内情報共有会議(1回、7人)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野地方気象台)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

○6/4 千曲川河川合同巡視(気象台6名参加)



### 流域治水の広報

○10/25「おてんき・ぼうさい教室」で気象防災について紹介  
(参加:信州大学 長野県 千曲川河川事務所 松本砂防事務所 予報士会長野支部等16機関 来場者: 246名)



### 教育活動

○気象庁ワークショップや出前講座を開催  
7/25 長野県シニア大学(参加者 24名)  
9/ 8 長野市立 共和小学校(参加者34名)



### 予測技術の改善

○令和8年度から新たな防災気象情報の運用を開始

令和8年5月下旬(予定)より  
気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

### リスク情報等の提供

○千曲川流域タイムラインへの参加(随時)

令和6年8月30日  
千曲川・犀川流域タイムライン運用会議

気象解説資料  
長野地方気象台

台風第10号に係る  
警報級・注意報級の現象が予想される期間

警報・注意報の種類	発生時刻	解除時刻	対象地域
大雨特別警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
大雨危険警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
大雨警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
大雨注意報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
土砂災害特別警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
土砂災害危険警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
土砂災害警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
土砂災害注意報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
高潮特別警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
高潮危険警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
高潮警報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域
高潮注意報	8月30日 18時	8月31日 06時	千曲川流域

### 水災害対策の支援

○自治体地域防災計画、水防計画の修正協力(随時)  
○水害に対する気象資料の提供(随時)

### 計画策定

○洪水キキクルに掲載する河川流路の修正・追加(県内136河川で作業中、令和9年度に反映予定)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(湯沢砂防事務所)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 広報活動

○事務所HPでの情報発信



湯沢砂防事務所HP

○X(旧Twitter)での情報発信



FMうおぬま

○コミュニティーFMでの情報発信

○管内関係市町村で巡回パネル展示



栄村役場



おらたる  
(新潟県長岡市山古志)

○やまこし復興交流館(おらたる)

- ・パネル展示
- ・多言語VTR設置

## 連携活動

○「NPO湯沢砂防」の現場視察



○「高棚川改良事業促進協議会」の現地視察



## 防災教育

○小中学校での防災教育(総合学習支援)



土石流ミニ模型で実験  
(砂防堰堤の機能を学習)



土石流映像等を用いて説明

○地域イベントや防災訓練での出前講座



土石災害をパネルで説明



3D土石流体験装置で疑似体験



土石流ミニ模型で実験  
(砂防堰堤の機能を学習)



VRゴーグルで土石流を疑似体験

## 関係機関との連携

○大規模土石災害を想定した合同防災訓練



湯沢砂防事務所 災害対策室



栄村役場 会議室

中津川流域の2県3市町村村等(長野県、栄村、新潟県、津南町、十日町市等)との合同防災訓練(Web)

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松本砂防事務所)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 流域治水の広報

○事務所HPやX(旧Twitter)での情報発信



○砂防事業の紹介パンフレット作成、配布による意識啓発



## 連携活動

ONPO梓川流域を守る会との現地視察、意見交換



## 関係機関との連携強化

○大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施



## 教育活動

○地域イベントや防災訓練で、土石流3Dシアターや降雨体験装置を用いた体験学習、模型やパネルによる防災教育を実施



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(大町ダム管理所)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- ダムの役割、メカニズムが伝わるイベントを開催
- ・R7.7.19 高瀬渓谷フェスティバル 約300人参加
- ・R7.11.15高瀬渓谷 治水とエネルギー探訪20人参加



## 流域治水の広報

- 大町ダム情報館にて、パネル等を用いて水害記録や大町ダムの役割を展示 (R7年実績 来館者数4,688名)



## 教育活動

- 社会科見学、職業体験、総合学習による小学生・中学生の受け入れをし、ダムの役割等の学習 (R7年度実績 小学生:100名、中学生:16名)



## リスク情報等の提供

- 監視カメラの設置、河の防災情報にて閲覧可 (高瀬川、16箇所設置)
- 放流開始前のサイレン吹鳴
- 放流開始前の巡視

## 情報提供

- R7.8.1～操作規則改正に伴う「新たなダム運用操作説明会」の開催(対面、WEB)
- 下流関係団体への通知内容の説明(3団体へ訪問)
- 放流警報による放流情報の周知

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(利根川水系砂防事務所)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 広報活動

### ○出張所広報紙、SNSによる情報発信



## 教育活動

### ○土石流模型実演装置や自然災害体験車を用いた防災教育(2回、49人)



土石流模型実演装置を用いた学習



自然災害体験車(3D映像)による学習

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(北信森林管理署・中信森林管理署・東信森林管理署)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 企業や団体によるボランティア活動を実施
- 関係団体と連携し植樹祭を実施
- 関係団体と高山植物等保護の普及啓発活動を実施



ボランティア活動によりウッドチップを敷設



環境美化活動



地元中学生が鳥の巣箱を設置



関係団体と連携し植樹祭を実施



高山植物等保護普及啓発

- 自然への理解や関心を深めるため、ボランティア活動と森林教室の同時開催

## 流域治水の広報

- 広報誌により、各種取り組みやお知らせを掲載



ボランティア団体への森林教室

## 教育活動

- 自然への理解や関心を深めるため、地元中学生が鳥の巣箱を設置

## リスク情報等の提供

- 中部森林管理局HPで山地災害危険地区マップを掲載



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(森林整備センター)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 流域治水の広報

- 季刊誌にて洪水災害の歴史と事業による流域治水の強化促進について掲載  
(長野県内 76関係機関へ郵送)



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県水道・生活排水課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県農地整備課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- ため池サポートセンターと連携し、ため池管理者へ点検や雨水貯留の取組に係る説明会を開催(約160名)、現場パトロールを実施(約120箇所)



## 流域治水の広報

- 「ため池を活用した雨水貯留の取組に係る指針」を作成し、説明会等で活用



- 信州社会科教育研究会監修のもと、副教本「排水機場と排水のしくみ」を作成、千曲川周辺の小学校に配布・活用



## 教育活動

- 排水機場の役割や仕組みについて、小学生及び農業大学校生を対象に、学習会の開催を案内



## リスク情報等の提供

- 下流域への影響が大きいため池(防災重点農業用ため池)について、氾濫解析等を実施し、市町村が作成するため池ハザードマップの作成を支援(642箇所)



- 長野県ため池監視システムを整備(149箇所)し、大雨時の点検等の効率化、避難体制の構築、雨水貯留の状況把握などに活用



## 避難体制構築への支援

- ため池ハザードマップ、ため池監視システムを活用した避難訓練等を支援



- 排水機場の役割等、地域住民の防災教育を深化させ、迅速な避難行動等への意識を向上



## 継続した取組への支援

- 営農に支障のない期間でのため池の雨水貯留の取組拡大に向け、空き容量の確保による効果を見える化



- ため池の雨水貯留に必要な、かかり増し経費の助成制度を創設(R5~:10市町村)

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県森林づくり推進課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

○関係機関や地元住民が参加した災害危険箇所の合同パトロール



○イベントの一環で治山施設の役割を伝えるブースの開設



○山地防災キャンペーンの開催(5/20-6/30)



## 教育活動

○模型を活用した防災教育(R7...1回、中学校)



○「地すべり学会アウトリーチ活動(R7...1回、約40人)



○海外研修生を対象とした「災害に強い森林づくり」講座(R7...2回15人)



## 防災活動の支援

○地すべり防止施設の巡視や点検に対する支援(R7...9地区)



## リスク情報等の提供

○山地災害危険地区情報の公表

○山地災害危険地区の優先度が高い地区のマップ作成

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県砂防課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 砂防ボランティア協会や市町村と連携し土砂災害警戒区域パトロールを実施
- 砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わるツアーの開催を支援
- 地域住民や関係機関との維持管理の実施(パト参加者延べ:554人、維持管理7箇所)



## 流域治水の広報

- 土砂災害防止月間におけるポスター、SNS等を活用した発信



## 教育活動

- 小中学校等への防災教育・出前講座
- 赤牛先生(土砂災害専門家)による防災教育(45回、約1,800人)  
※期間:R7.4.1~R7.12.31



## リスク情報等の提供

- 土砂災害警戒区域等の指定、土砂災害警戒情報の発表基準変更
- 信州砂防情報マップによる砂防関係情報の提供
- 長野県河川砂防情報ステーションを活用した防災情報の共有
- 土砂災害リスク情報看板の設置



## 訓練活動

- 地区防災マップの作成及び住民参加型の避難訓練を支援  
(赤牛先生の派遣:17回、このほか事務所発注にて実施)※期間:R7.4.1~R7.12.31



## 土砂災害対策の支援

- 避難時の声かけや避難誘導方法等の優良事例紹介

## 計画策定

- 土砂災害警戒区域に立地している要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県都市・まちづくり課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

計画策定

都市・まちづくり課

○防災指針(立地適正化計画)の作成に向けた助言(R8.1現在 11市、2町作成)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

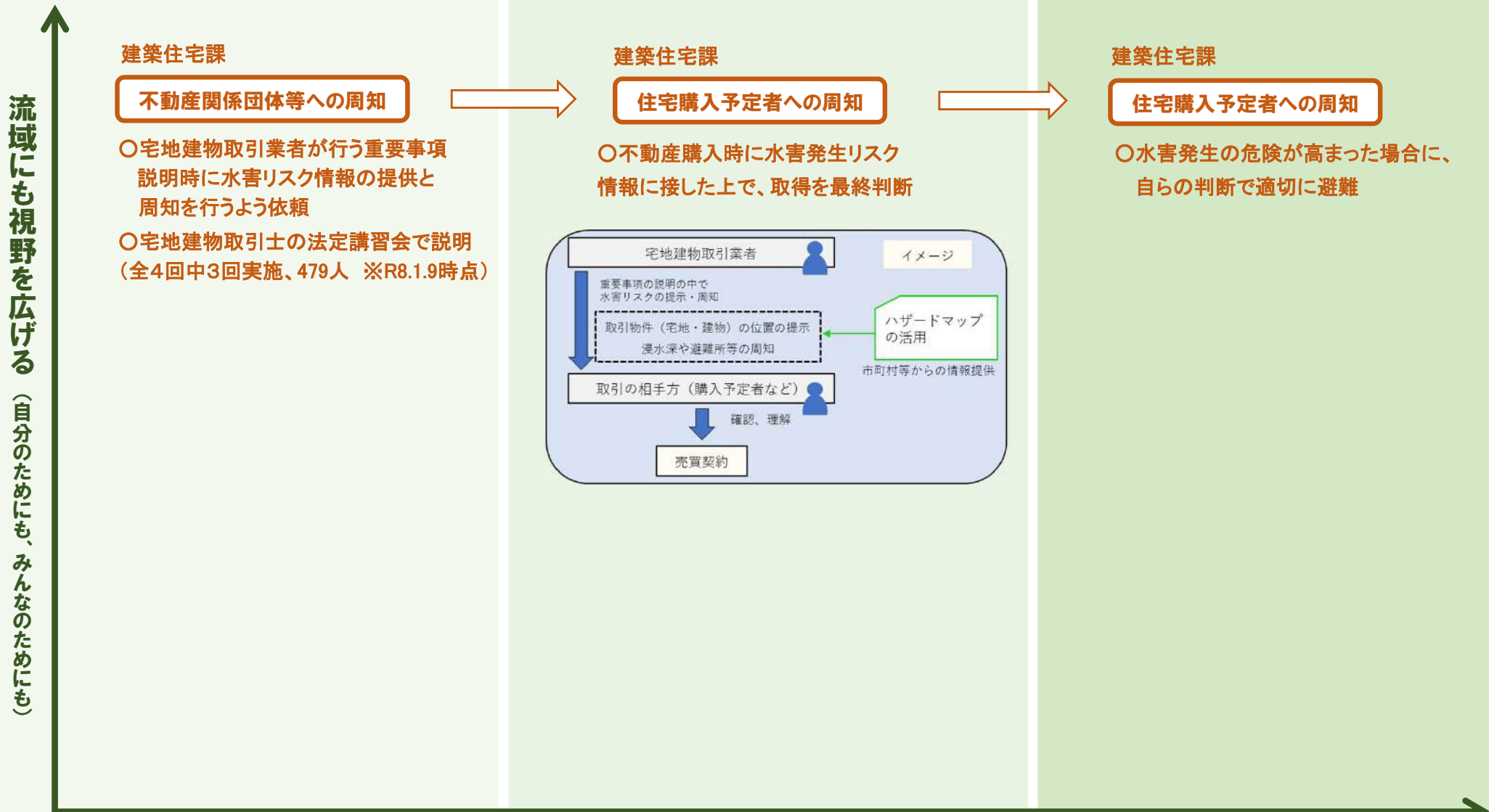
## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県建築住宅課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(佐久建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 重要水防区域の合同点検  
(佐久市、5月、1回)
- 土砂災害警戒区域パトロールの実施  
(6月、1回、16人)



## 教育活動

- 出前講座(赤牛先生)による  
防災教育の実施  
(管内6回、約180人)



- 中学校への模型、AR等を活用した  
防災教育の実施  
(2回、97人)



## 水防活動の支援

- 水位計・カメラによる  
水防活動の支援



## 流域治水の広報

- 災害伝承カードの配布
- イベント時にパネル展等で  
防災教育、過去の災害の周知
- 流域治水の取組み事例を  
まとめた資料の配布



## リスク情報等の提供

- SNSを活用したリアルタイム  
の情報提供
- イベント時に河川砂防ステー  
ションの説明とチラシの配布
- 市町村へのメールの配信
- ホットラインの更新(6月)

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(上田建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 河川管理者や河川沿川地区等と共同で点検を実施(2市)
- 自主防災組織リーダー研修会の実施による人材育成(1市)

### 流域治水の広報

- パネル展、防災教育、HP等での周知(建設事務所、2市村)
- 災害伝承カードの配布(建設事務所)

### 教育活動

- 地区防災マップ、マイ・タイムラインの検討・作成支援(建設事務所、1村)
- ダム見学会や出前講座等による防災教育の実施(建設事務所・2市村)
- 小、中学生を対象とした防災教育、出前講座の実施(建設事務所、1市)
- 地域住民を対象とした土砂災害講座(1市)



### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域等の公表、周知(建設事務所、1町)
- 水位計・カメラによる河川情報の提供(建設事務所)
- ハザードマップの作成・配布
- 避難所や経路に関する情報の周知

### 訓練活動

- 学校や地域住民参加型の避難訓練を実施(4市町村)
- 情報伝達訓練の実施(建設事務所、1市)
- 自主防災組織による防災訓練
- 「総合防災訓練」を実施

### 水防活動の支援

- 水防訓練や水防技術講習会の開催(1市)
- 水位計・カメラによる水防活動の支援(建設事務所、1市)
- 備蓄資材の情報共有(建設事務所、4市町村)

### 水災害対策の支援

- 関係者が一体となったタイムラインの作成・検討・見直しの実施(建設事務所、1市)

### 計画策定

- 都市計画区域マスタープラン変更検討(1市)
- 立地適正化計画(防災指針)の見直し検討(1市)
- 業務継続計画(BCP)の見直し(2市)
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援(1市)
- 指定避難所運営方針策定(1市)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松本建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- ダム役割、メカニズムが伝わる見学会  
(奈良井ダム、小仁熊ダム)

奈良井ダム ビデオ上映



小仁熊ダム 施設説明



## 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練に参加、講習会を実施  
(朝日村、1回、参加人数30人)



## リスク情報等の提供

- 土砂災害における警戒避難体制を強化し、住民の避難に資するため、土砂災害に関する行動計画作成の取り組みを支援
- 地区防災マップ作成支援  
(2市、1村の3地区で実施)

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(安曇野建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 砂防ボランティア協会、市町村、消防、警察と連携し土砂災害警戒区域パトロールを実施



- 調節池の役割、メカニズムが伝わる見学会の開催(全2回のべ約50名参加)



### 流域治水の広報

- 防災インフラカードの配布
- 災害伝承カードの配布
- 雨水貯留タンク設置をX(旧Twitter)での情報発信
- パネル展、土砂災害模型による広報(2回)



### 教育活動

- 小学校の授業で模型や動画、ボードゲームを使用して防災に関する体験学習を実施



- 「中学生キャリアフェスティバル」で土石流模型を使用して災害のしくみと防災インフラについて紹介



- 小学校の授業において地域の災害リスクや避難に関する防災教育を実施



### リスク情報等の提供

- 危機管理型水位計(8河川11箇所)簡易型監視カメラ(10河川13箇所)による河川情報の提供
- 浸水リスク防災情報の提供(5河川)(安曇野市へ高頻度の浸水想定区域図など)

### 訓練活動

- 自主防災避難訓練に参加(安曇野市約140人)



### 水防活動の支援

- 水位周知河川水位局の水位感知センサーの修繕(安曇野市(一)万水川矢原水位局)
- 備蓄資材の情報共有
- 洪水情報伝達訓練を実施(安曇野市1回)

### 計画策定

- 地区防災マップの作成支援(安曇野市豊科古厩地区)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(大町建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 重要水防区域合同点検 (R7.5月)  
(大町市、池田町、松川村 計 11名参加)
- 土砂災害警戒区域パトロール (R7.6月)  
(大町市、松川村 計 15名参加)



## 教育活動

- 出前講座(赤牛先生)による防災講習会  
開催(松川村3地区 R7.11月~R8.1月)



## 訓練活動

- 地域住民参加型の避難訓練、  
防災講習会に参加 (R7.11月  
松川村1地区 計 37名参加)

## 水防活動の支援

- 水位計・カメラによる水防活動  
の支援
- 自治体と連携した水防訓練の  
開催(管内5市町村 R7.5月)



## 水災害対策の支援

- 関係者が一体となり洪水氾濫に  
よる被害を軽減するための協議  
会を開催 (R7.5月 20機関参加)
- 土砂災害の防止・軽減を図るこ  
とを目的とした連絡会を開催  
(R7.5月 19機関参加)



## 流域治水の広報

- 防災訓練に伴う啓発パネル展開催  
(大町市 R7.8月)
- 災害伝承カード配布
- 新聞を活用した防災  
情報の周知 (R7.6月)
- 雨水貯留浸透施設  
説明パネル設置



## リスク情報等の提供

- 水位計・カメラによる河川情報の提供
- 地区防災マップの作成支援  
(松川村3地区 R7.5月~10月)



## 計画策定

- 要配慮者利用施設の避難確保  
計画作成の支援

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(千曲建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 流域小学校での砂防施設現地見学会(千曲市治田小 1回、56人)



- 土砂災害警戒区域パトロールを実施(千曲市、坂城町 1回、17人)



### 流域治水の広報

- 災害伝承カードの配布(96人)



### 教育活動

- 小学校への防災教育出前講座(千曲市治田小、坂城町村上小 2回、135人)



### リスク情報等の提供

- ホームページに中小河川における想定最大規模の洪水浸水想定区域図を掲載(13河川)

### 訓練活動

- 長野圏域大規模氾濫減災協議会実施(1回)
- 長野・須高・更埴地域 総合土砂災害対策推進連絡会・幹事会実施(1回)

### 水防活動の支援

- 簡易型河川監視カメラによるリアルタイム情報発信(11箇所)

### 水災害対策の支援

- 千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインでの連携・協力

### 計画策定

- 土砂災害警戒区域指定(千曲市)
- 地区防災マップの作成支援(千曲市)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(須坂建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 土砂災害警戒区域パトロールの実施 (3市町村、19人)
- 水防活動に関わる関係者と合同で重要水防箇所を現地調査 (5団体、16地区)

[土砂災害警戒区域パトロール]

[水防箇所の現地調査]



### 流域治水の広報

- 災害伝承カードの紹介、配布 (4種類、210枚)



### 教育活動

- ダム見学(1回、250名)
- 赤牛先生(土砂災害専門家)による防災教育 (区長会防災講座等 2市町、2回) (地区防災マップ作成支援 2地区、2回)
- 須坂東高校防災学習(1回、40人)

[ダム見学]



[赤牛先生]



[防災学習]



### リスク情報等の提供

- 地区防災マップの作成支援(2地区、6回)



### 計画策定

- 地区タイムラインの作成に参加 (須坂市中島、福島地区、6回)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 長野市土砂災害対応防災訓練と連携し土砂災害模型や降雨体験車等を用いた合同防災教育の実施



### 教育活動

- ダム(3ダム)まつりを通じた水防災意識の普及(2回、241人)
- 小中学校等のダム・排水機場見学における水防災教育(30回、561人)



### 訓練活動

- 自治体と連携した水防訓練を実施(長野市、1回)



### リスク情報等の提供

- ダム諸量をインターネットへ掲載(3ダム)
- 危機管理型水位計・監視カメラによる河川情報の提供
- 地区防砂マップの作成支援(信濃町 古海地区)



### 流域治水の広報

- 災害伝承カードの紹介、配布(320枚)



- 浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を示した防災看板を設置(長野市 2箇所)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(北信建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 千曲川水環境保全協議会による小学生のサケ稚魚放流学習体験会の実施(1回、74人)



### 流域治水の広報

- 災害伝承カードの配布(180枚)
- 土砂災害警戒区域の合同パトロールの実施(1回、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村)
- いいやま脱炭素フェア2025で流域治水模型による実演
- 市町村職員を対象に現場見学会の実施(1回、53人)※令和元年台風 皿川 飯山市

### 教育活動

- 中学校を訪問し、流域治水や土石流模型等を用いた防災教育の実施(3回、217人)



- 千曲川水環境保全協議会による小学生のサケ稚魚放流学習体験会にて流域治水勉強会の実施(1回、74人)



### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域の公表、周知(48河川)
- 危機管理型水位計(16河川、21箇所) 監視カメラを設置(15河川、19箇所)

### 訓練活動

- 自治体と連携した排水ポンプ車稼働訓練を実施(国交省、飯山市、消防団)



- 水防訓練の実施(飯山市)



- 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練に参加(湯沢砂防事務所、新潟県、栄村、津南町、十日町市 58名)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(千曲川河川事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 関係機関や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施(387人)
- 報道機関等への情報提供及び連携強化



## 教育活動

- 出前講座による防災教育の実施(4回)
- 自分事化を促進する防災教材の発案・実践(3回)
- ダムや堤防等の施設についての啓発活動
- 小学生等を対象とした河川環境の学習会等を実施
- 地区防災マップやささえあい防災マップ作成支援・検討



## 訓練活動

- 避難訓練の実施支援
- 避難訓練への地域住民の参加促進



## 水防活動の支援

- CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置
- 水防団等への連絡体制の確認・実践的な情報伝達訓練の実施
- 新技術を活用した水防資機材の検討

## 水災害対策の支援

- ダム放流情報を活用した避難体系の確立
- 浸水リスクのある防災拠点や災害拠点病院等の施設等の浸水被害の防止軽減策の支援
- 人事異動後でも的確に対応できるよう年度初めのTL説明会を実施
- 出水期前の洪水対応演習と併せてTLの実践的演習を実施
- 令和8年度中の実装に向け実証実験に取り組んでいる「IDR4M」を洪水対応演習における自治体とのホットラインに活用
- ※「IDR4M」: 災害切迫時に自治体が的確に避難指示等を発令できるよう支援するためのシステムとして、技術開発を実施中



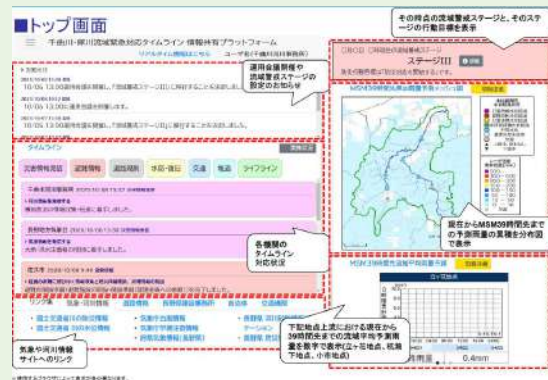
## 流域治水の広報

- パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信
- 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布



## リスク情報等の提供

- 浸水想定区域図作成・公表
- 氾濫シミュレーション結果や地形情報等の提供
- 防災訓練や防災学習、コミュニティタイム
- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報のラインに水害ハザードマップを活用
- 発信など防災情報の充実



## 計画策定

- 都市計画マスタープランや立地適正化計画等による水害に強い地域への誘導
- 地区防災計画・避難確保計画(要配慮者施設等)の作成・見直しを支援
- 大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画の検討を実施

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県河川課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 流域治水の広報

○流域治水に関するCM放送(6月~8月)

テレビ・WEB広告、街なかメディア等



○流域治水に関するパンフレットやノベルティグッズ展開



○パネル展の実施

○県有施設へ雨水貯留タンク設置(意識醸成)



## 教育活動

○模型や学習用動画、学習カードを活用した防災教育活動や出前講座の実施(計19回)



## リスク情報等の提供

○信州防災アプリの普及啓発(避難場所や経路等に関する情報の周知)

## 訓練活動

○情報伝達訓練の実施

○市町村と連携したダム管理演習の実施

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える